

報道関係者 各位



SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2013 10周年特別企画

“IDCF 傑作短編” WEB 投票

「あなたが選ぶベスト3」結果発表



2004年にスタートして以来、国内外の新しい才能を見出してきた「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭」は、この夏10周年を迎えます。年々、人気が高まっている短編コンペティション部門には、国内から多くの魅力あふれる秀逸な作品が集まり、再上映やDVD化を望む多くのリクエストが寄せられています。その熱い要望に応え、本映画祭2010～2012年の過去3年間の受賞作品を中心に、本映画祭ディレクターが9作品を厳選し、**10周年特別企画“IDCF*傑作短編”「あなたが選ぶベスト3」上映会の連動イベントとして、5月15日（水）から6月20日（木）の期間、映画祭公式サイト**

(WEB) 上による短編作品の配信および人気投票を実施いたしました。

今回、19分から30分という時間の中で描かれた、人間ドラマ、コメディ、ミュージカル、こま撮りアニメーションと多岐に渡るジャンルから、支持の多かった上位3作品を、映画祭期間中に表彰し、上映を行います。

※ **IDCF**とは…SKIP CIYT **I**nternational **D**-Cinema **F**estival の頭文字を取った本映画祭の略称です。

▶10周年特別企画

“IDCF 傑作短編”「あなたが選ぶベスト3」WEB 人気投票 結果発表

第1位 『小さなユリと 第一章・夕方の三十分』(26分)

監督：和島 香太郎 <2012年 短編部門 奨励賞 受賞作品>

第2位 『ケンとカズ』(23分)

監督：小路 紘史 <2011年 短編部門 奨励賞 受賞作品>

第3位 『ユメのおと』(25分)

監督：角川 裕明 <2012年 短編部門 最優秀作品賞 受賞作品>

傑作短編 WEB 投票「あなたが選ぶベスト3」授賞式&受賞作品上映 概要

○日 時： 2013年7月19日（金）14:30開演（14:00開場）

○会 場： SKIPシティ 多目的ホール（埼玉県産業技術総合センター1F）

○内 容： 支持の多かった上位3作品を表彰し、記念盾と賞金を授与。授賞式後、上位3作品を上映。

○入場料： 無料（当日先着順）

■お問合せ先： SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 電話：048-263-0818

WEB 人気投票による、上位3作品は、以下の通りです。

第1位 小さなユリと 第一章・夕方の三十分 / With Little Yuri Episode1. Sunset 30min.



SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2012 短編部門 奨励賞

新太は元アルコール依存症の舞台役者。妻の乳がんの手術のため、数日間、2歳になる娘のユリと二人で暮らすことになる。しかしユリは新太に懐かない…。濃密な父と娘の感動ドラマ。

2011年/日本/26分

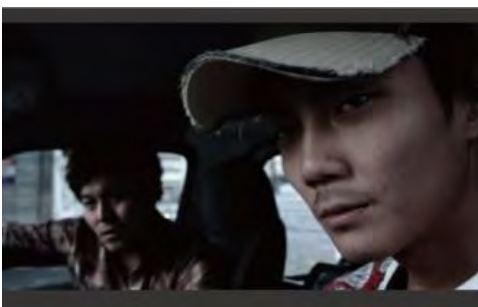
【監督】

和島 香太郎



1983年生まれ。大学卒業後、BS-TBS「先生道」「東京少女」などのドラマを演出。2008年、文化庁若手映画作家育成プロジェクトに選出され、短編映画『第三の肌』を監督。2011年、仙台短編映画祭制作のオムニバス映画『明日』に出品した『WAV』が反響を呼び、フランスの放送局 Arte でも放映された。

第2位 ケンとカズ / Ken and Kazu.



SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2011 短編部門 奨励賞

麻薬の運び屋・ケンとカズ。カズは母親のために足を洗うつもりだ。そんな中、二人の横領が組織にバレて、カズは拉致されてしまう。カズが足を洗うことを快く思っていないケンは…。

2011年/日本/23分

【監督】

小路 紘史



1986年広島で生まれる。2005年から東京フィルムセンター映画・俳優専門学校で映画制作を学ぶ。2008年から4年連続でショートショートフィルムフェスティバル & アジアに入選。そのほかにもリオデジャネイロ国際短編映画祭やアジアナ国際短編映画祭で作品が上映される。

第3位 ヲメのおと / Dream Notebook



SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2012 短編部門 最優秀作品賞

聴力を失い、歌手になる夢をあきらめてしまった雪華。自分のやりたいことが見つからない海斗。夢に彷徨う二人の出会いとその繊細な心情の動きを、多彩な歌で表現していく和製ミュージカル。

2012年/日本/25分

【監督】

角川 裕明



1974年、埼玉県さいたま市出身。早稲田大学法学部卒業。広告代理店勤務を経て俳優に転身。「レ・ミゼラブル」などのミュージカルや、本格的なストレート芝居に数多く出演。また、ミュージシャンとしても幅広く活動を展開。デザインブランド「wayomix」のプロデュースも行う。『ユメのおと』で監督デビュー。「日本におけるミュージカル映画のスタンダードを創る」を目的に「Japanese Musical Cinema」を立ち上げる。

～ 本件及びご取材・画像素材ご提供に関するお問い合わせ窓口 ～

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 広報担当：松永 (E-mail: press@skipcity-dcf.jp)

埼玉県川口市上青木3-12-63・5F 電話：048-263-0818 FAX：048-262-5635 携帯：070-6523-0261

<http://www.skipcity-dcf.jp/>